

# 令和元年度 研究紀要 執筆要綱

奈良県国語教育研究会

## 研究紀要全体のページ割り

※数字は A4 を 1 枚としたときのページ数。①、②、⑨、⑩はページとしてはカウントしない。  
また、扉についてはページをカウントするが、ページ番号は打たない。

①はじめに	…… 1 →原井会長	
②目次	…… 1 →事務局	
③研究計画	…… 6 [扉 (間紙) 2 頁 + 4 頁] →事務局	
④～⑦研究結果 ～小学校 ○学年部会編～	…… 2 [扉 (間紙)] →事務局	
I 研究に当たって (先行研究を含む)	…… 3 (最大) →指導・幹事	
II 主題に迫る実践事例	…… 15～20 (最大) →研究委員	
III 研究の総括	…… 1 →指導・幹事	
⑧資料	…… 2 [扉 (間紙)] →事務局	
I 参考・引用文献	…… 1 →事務局	
II 本年度の研究集録で取り上げた教材	…… 1 →事務局	
⑨奥付 (研究委員名簿等)	…… 1 →事務局	最大 117 ページ

## 執筆上の注意

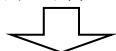
ア 原稿は A4 版横書きとし、共通書式として、上側と左右の余白を 20 mm、下側の余白を 25 mm設ける。ワークシートや児童の作品例を掲載する場合は、特に上記の余白が確保されるように気を付ける。1 ページあたりの字数、行数は、42 字×43 行とし、見出しや強調する場合を除き、本文は 10.5 ポイント・MS 明朝とする。(下記、プロット参照)。また、ページは印字しない。

イ 先行実践や引用文献は明記する。

ウ 校正は部会内で責任をもって行う。予定は下記を参照のこと。

エ 原稿提出の際は、データとプリントアウトしたものの双方を提出する。

① 部会幹事 (指導) に最終原稿を提出…10/4 (金) 厳守



② 事務局に原稿を提出…10/11 (金) 厳守

※幹事 (指導) の先生は、原稿の裏に鉛筆で通し番号を打っておいてください。



② 事務局、原稿最終チェック…10/12 (土)



③ 印刷所に入稿…10/15 (火)



④ 紀要印刷完了…10/21 (月)



⑤ 指導、幹事、発表者に紀要送付…10/24 (木) 頃

秋季研究大会 10/31 (木) 於：奈良市立平城小学校 ※午後からの半日開催
--

## R1 研究紀要 執筆要綱 項立て

研究結果 (部会別報告) ※「執筆上の注意」に準じて作成しています。

### I 研究に当たって

←指導・幹事

※この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体  
※項立て(プロット)はお任せします。

### II 主題に迫る実践事例

←研究委員

※この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体  
※部会内で最初に実践をされる方のみ、この見出しを付けて

く

ださい。二人目以降は構いません。

《第〇学年》 領域 「B書くこと」	←(10.5ポイント・MSゴシック体)
(単元名) 考えと理由を整理して書こう	←(14ポイント・MSゴシック体)
<b>言語活動</b>	
考えたこととその理由を順序立てて書く	←(10.5ポイント・MSゴシック体)

**要約** ←(横2倍文字・MSゴシック体)

35字×10行程度

### 1 学習材名

←この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体

「理由がわかるように書こう」(東京書籍三年下)

### 2 単元目標

←この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体

- 考えたこととその理由を順序立てて～しようとしている。(国語への関心・意欲・態度)
- 考えたことを段落相互の関係に注意して～書くことができる。(書くこと)
- 理由を表す時に使う言葉を～できる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

### 3 言語活動とその特徴

←この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体

本単元では、言語活動として～を位置づけた。～を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

### 4 単元について

←この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体

#### ○ 児童について

←この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体

本学級の児童は、毎週の日記の課題に意欲的に取り組んでいる児童が多い。授業の振り返りや物語を読んだ感想文などを書く際は、～している。(※本実践で付けたい力の現状を、具体的に示してください。資料やワークシートを示していただいても構いません。)

○ 単元構成について（学習材について）

↑この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体

○ 指導について

←この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体

5 単元の評価規準

←この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体

ア 国語への 関心・意欲・態度	イ 書く能力	ウ 言語についての 知識・理解・技能
1 ～しようとしている。	1 ～している。 (指導事項)	1 ～している。

6 単元の指導計画

←この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法等
一	1 ①	○学習の見通しをもつ。 ●単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。	・学習の～意識をもたせる。	・段落の役割について興味を～、見通しをもっている。 (アー1) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">観察</span>

7 指導の実際

←この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体

第一次

- 学習の見通しをもつ。

自分が見つけた生き物の特徴を知らせたいという思いに立たせ、来年入学する園児に紹介する文章を書くという学習の流れを伝え、相手意識と目的意識をもたせた。教師のモデル文を紹介したことで、学習の課題と今後の見通しをもたせることができた。

第二次

- 伝えたいことを選び、文章に書き込む。  
発見した特徴を書くために、付箋を用いて～。

※本実践で付けたい力を付けるために重点的に指導した部分を中心に写真や資料、ワークシートなどを示しながらまとめてください。その他の部分については、指導計画と異なった部分や、ねらった力に関する児童の学習の様子について簡潔に書くようにしてください。(指導計画のすべてについて、詳しく指導の実際を紹介していただく必要はありません。)

8 成果と課題

研究主題に迫るために、「考えと理由を整理して書こう」という学習を組み立てた。その際、次の3点を大切に～。(※一例です。必ずしも「次の何点を～」とならなくて構いません。) その結果、本実践を行う前には～であった児童の書く力について、次の変容が見られた。

III 研究の総括

←指導・幹事

※この見出しのみ12ポイント・MSゴシック体

※項立て(プロット)はお任せします。